

# 農業



令和7年9月号  
会誌 No. 1734

## 目次

### 巻頭言

緑の革命からアグロエコロジーへ……………山本 祐司 3  
—持続可能な農業の未来に向けて—

### 論壇

農地取得の外資規制を考える……………内山 智裕 4

### 農業懇話会

“IoP (Internet of Plants)”が導く  
Next次世代施設園芸農業への進化……………岡林 俊宏 6  
—高知県におけるIoPクラウド (SAWACHI) の取り組み紹介—

### 地域セミナー 秋田

食と農で地域を興す—秋田の可能性を探る—……………22  
 解題……………青山 浩子 22  
 話題提供……………藤原 絹子 24  
 実践報告……………伊藤 明美・石垣 一子・齋藤 英則 26  
 パネルディスカッション……………33

### 食を楽しむ

甘味ハンターの旬菓秋冬……………甘味 婦人 36

### 研究の最前線

リンゴ新品種「紅つるぎ」の開発……………守谷 友紀 37  
—カラムナー性が可能にする省力栽培—

農業・農村の現場から

飛翔制御したナミテントウの定着率向上のための  
ペースト状人工飼料の開発……………黒田 歩夢 45

私の経営と志

栃木県那須烏山市でニラと露地野菜を栽培……………脇阪安希奈 51  
—農業をやってみて—

農家の気持ち

苦難を乗り越えて千葉県旭市で農業を志す……………長谷川雅和 53  
農政情報…………… 54

支会インタビュー

大日本農会北米加州支会の紹介……………小山 信吉 55  
大日本農会だより…………… 56  
編集部から…………… 56

表紙写真説明：シリーズ農村の伝統祭事

たけのぼり  
岳の幟  
(長野県 上田市)

天下の奇祭と言われる岳の幟は、長野県上田市別所温泉に伝わる雨乞いの祭りです。室町時代の1504（永正元）年の大干ばつに、村人が夫神岳（おがみだけ）に登り、山頂で雨乞いを行ったところ、雨が降り出し、三日三晩降り続いたことから、九頭竜権現（くずりゅうごんげん）の祠（ほこら）を建て、反物を奉納したことが始まりとされ、今年第522回になります。

1997（平成9）年12月4日、国の選択無形民俗文化財に指定されました。

毎年7月15日に近い日曜日の早朝、別所温泉4地区の当番地区の住民が夫神岳に登り、山頂の九頭竜権現の祠に米、酒、野菜等の供え物の他に反物（布）を供え、水の恵みと五穀豊穰（ほうじょう）を祈願します。神事後、供えた布を持参した竹竿にくくり付け、幟の形に仕立て、神主役の自治会長を先頭に山を下ります。麓では待ち構えていた、別所神社宮司、氏子総代、自治会長、水利組合長の他、「獅子舞い」「ささら踊り」の一行と合流し、行列が区内を別所神社まで巡ります。途中地区内4カ所と別所神社で「獅子舞い」と女子児童による「ささら踊り」が披露奉納されます。

【岳の幟の背景】別所温泉のある長野県上田市は、年間の平均降水量が約900ミリメートルと、全国でも有数の少雨乾燥地帯です。また、別所温泉は湧き水を得られる場所が無いため、水の確保はことさら切実な願いでありました。

(写真：別所温泉観光協会，文：岳の幟保存会長，別所神社総代長 古平 昭一)